

平成26年度 樽町中学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

- 社会の基本的な知識やモラルを身につけ、自立を目指すことのできる人
 - 豊かな関わりを持ち、社会を創り出すことのできる人
 - 多様な価値観を活かし、学び合うことのできる人
- の育成に努めます。

児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

- 本校は大規模校であり、地域は、マンション群・新興住宅が多く、新住民が多いため自己肯定感が若干低く、地域の一員としての自覚はやや希薄である。自己肯定感を高め地域に根ざした自己の確立が課題になっている。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- 豊かな体験活動を通して、人との関わりを大切にし、違いを認め、思いやりの心を育てる。
- 家庭や地域との連携を図り、多くの人と関わることでコミュニケーション力を高める。

指針1 「道徳の時間・朝読書の時間」の充実

- 道徳・学活の研究授業を年1回実施し、授業力を高めるために研修を深めます。
- 各学年で道徳研修会を実施し、道徳の時間の指導力を向上させます。
- 朝10分間の読書で読解力を身につけると同時に自らの課題を選び学習を深めます。

指針2 「体験活動」の充実

キャリア教育の推進を図り、体験活動を充実させる

- 1年 校外活動での望ましい人間関係と集団作りを学んでいく。
- 2年 職業体験学習で地域とのふれあいで望ましい勤労観・職業観を学んでいく。
- 3年 修学旅行で優れた文化・芸術にふれ、豊かな感性や様々な考え、価値観を学んでいく。